

120530 二上山「万葉の森」のカマキリ・バッタ

今回は、

5月26日に 二上山「万葉の森」やその周辺で撮影したカマキリやバッタを紹介します。

◆写真①・②： オオカマキリ

◇道ばたの草むらの中に“オオカマキリ”の卵鞘を見つけました。

◇もう孵化しているのかな、と思いながら顔を寄せて見てみると…

◇卵鞘の下に“くずくず”みたいなものがぶら下がっていました。

これは、孵化した幼虫が1回目の脱皮をした抜け殻なのです。

卵鞘から抜け出ると、すぐさま脱皮するんですね。

◇さらに…

1匹の子どもの姿が！！

◇一つの卵鞘の中から200匹くらいの幼虫が孵化するのですが、果たしてその中のどれくらいの幼虫が無事に成虫にまで育つことができるのでしょうか…？

◇答えは…

わずか2、3匹に過ぎないと言われてています…

◆写真③： フキバッタ（幼虫）

◇体長は1cmにも満たない若齢幼虫です。

◇成虫はイナゴに似ていますが、この種の仲間は羽が退化して飛べない種が多いようです。

◆写真④： ヤブキリ（幼虫）

◇キリギリスの仲間です。

◇夜は「シリリリリリ…」と聞こえる声で鳴きますが、日中はキリギリスの声に似た感じで、「ギー…」と鳴くのですが、

「チョン」という合いの手を入れることはありませんね。

◆写真⑤： ツチイナゴ（成虫）

◇卵で越冬するバッタ類が多い中、この種は成虫で越冬します。

◇毎年、10月頃に成虫が見られるようになり、冬は枯れ草の下などで越冬、春になって暖かくなると活動再開です。

◇6月ころまでは成虫を見ることができますので、写真の個体の寿命もあと一月くらいでしょうか…









